

散布 月日	散布時期	使用薬剤 (水 100ℓ当り使用量)	使用 時期	使用 回数 (以内)	散布量 (ℓ)	対象病虫害	注意事項
／	【第1回】 3月下旬 (発芽前)	(水88ℓ) スプレーオイル 2ℓ 石灰硫黄合剤 10ℓ	発芽前 休眠期	— —	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 石灰硫黄合剤に代えてベフラン液剤 25 の 1000 倍 (休眠期、6 回以内ただし開花期以降は 3 回以内)でもよい。混用順: ベフラン液剤にスプレーオイルを加用する。
／	【第2回】 4月中旬 (展葉後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ベフラン液剤 100mℓ コロナフロアブル 250mℓ	前日 —	3回 —	350	黒星病 うどんこ病	① 【代替】ベフラン液剤 25 に代えて、パスポートフロアブル 1000 倍(45 日前、3 回)でもよい。
／	【第3回】 5月初旬 (開花期)	展着剤(ササラ) 50mℓ オルフィンフロアブル 25mℓ サムコルフロアブル10 20mℓ	7日前 前日	3回 3回	400	黒星病 黒点病 うどんこ病 ケムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ	
／	【第4回】 5月中旬 (落花後) (前回より10日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ スコア顆粒水和剤 33g ユニックス顆粒水和剤 47 50g	14日前 14日前	3回 4回	500	黒星病 うどんこ病	① 【代替】スコア顆粒水和剤に代えて、オンリーワンフロアブル 2000 倍(7 日前、3 回)でもよい。 ② アブラムシ類対策 ウララ DF2000 倍(14 日前、2 回)を加用する。
／	【第5回】 5月末 (前回より10日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ パレードフロアブル 15 50mℓ コルト顆粒水和剤 25g	前日 前日	2回 3回	500	黒星病、黒点病 うどんこ病、褐斑病 アブラムシ類 カイガラムシ類	① 【代替】パレードフロアブルに代えてフルーツセイバー2000 倍(前日、3 回)でもよい。
／	【第6回】 6月上旬 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ジマンダイセン水和剤 200g スプラサイド水和剤 66g	30日前 30日前	3回 2回	600	輪紋病、炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 アブラムシ類、シンクイムシ類 ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類 カイガラムシ類、カメムシ類	① カイガラムシ類対策 アブロードフロアブル 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。 ② 枝腐らん病対策 トップジンM水和剤1,000 倍(前日、6 回)を加用する。
／	【第7回】 6月下旬 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ バイスロイドEW 50mℓ アントラコール顆粒水和剤 200g	7日前 45日前	4回 4回	600	輪紋病、炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ	① 褐斑病対策 トップジンM水和剤 1500 倍(前日 6 回)を加用する。
／	【第8回】 7月上旬 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ジマンダイセン水和剤 200g オリオン水和剤 40 100g	30日前 前日	3回 2回	600	輪紋病、炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、カイガラムシ類	① ハダニ類対策 早期多発が心配される場合は、8 月上旬散布予定のコロマイト乳剤を繰り上げて加用する。
／	【第9回】 7月下旬 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ダニゲッターフロアブル 50mℓ アーデントフロアブル 50mℓ キノンドー顆粒水和剤 100g	前日 前日 14日前	1回 3回 4回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類 シンクイムシ類、カメムシ類 キンモンホソガ	① 飛散注意ダニゲッターフロアブルは開花期の水稲やシャインマスカットに飛散しないようにする。 ② 【代替】極早生種が混植してある場合は、キノンドー顆粒水和剤に代えて、ペルクートフロアブル 1500 倍(前日、6 回)を使用する。
／	【第10回】 8月上旬 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ コロマイト乳剤 100mℓ エクシレル SE 20mℓ キノンドー顆粒水和剤 100g	前日 前日 14日前	1回 3回 4回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ	① ハダニ類対策 7月上旬にコロマイト乳剤を使用した場合は、アカリタッチ乳剤 1000 倍(前日、-)を加用する。
／	【第11回】 8月下旬 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ フリントフロアブル25 50mℓ イカズチ WDG 66g	前日 前日	4回 2回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病、 すす点病、すす斑病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ	① ハダニ類対策 オマイト水和剤 750 倍(3 日前、1 回)を加用する。ただし、オマイト水和剤はナシ類に登録が無いので、飛散しないように注意する。
／	【第12回】 9月上旬 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ ストライド顆粒水和剤 66g ディアナ WDG 10g	前日 前日	3回 2回	600	炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 すす点病、すす斑病 黒星病 シンクイムシ、キンモンホソガ	① ストライド顆粒水和剤は、高温時に散布すると薬害が生じる恐れがあるので注意する。
／	【第13回】 9月下旬 (前回より15日後)	展着剤(ササラ) 50mℓ オーソサイド水和剤 80 100g	前日	6回	600	すす点病、すす斑病 褐斑病、斑点落葉病	① オーソサイド水和剤に代えて、ベフラン液剤 25 の 2000 倍(前日、3 回)でもよい。

◆ 安全・安心な農産物生産のために、防除・使用基準を厳守しましょう！

◆ 混用例：展着剤 ⇒ 液剤⇒ 乳剤⇒ 顆粒水溶剤⇒ 水溶剤⇒ フロアブル⇒ ドライフロアブル (DF) ⇒ 顆粒水和剤 (WDG) ⇒ 水和剤

【共通】展着剤ササラ 2000 倍を使用する。薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きが早くなる。